



箕輪進修高校 進路指導室

2012. 8. 30

3, 4年生用 No.37



面接でいかに自分を売り込むかが勝負

面接練習がすでに始まっていますが、就職試験において面接は各企業とも重視しています。**最低限の基礎学力**は問われますが、成績が多少悪くても、**面接で好印象であれば採用される可能性もあります。**

面接をするから仕方なく受けるというように受け身的に捉えている人も少なくないかもしれませんが、しかし、「**面接は自分を売り込むチャンス**」と捉え出来るだけ面接の中で自分をアピールするように心がければ、結果は違ってきます。ただ何となく面接を受けるのではなく「**是非ともここに入りたい!**」という強い意志を持ち面接に臨めば**自ずと面接の姿勢が変わってくるはず**です。

面接練習をしていて、質問に対して押し黙ってしばらく沈黙が続くような例がしばしば見られますが、これではダメです。分からないことは「分かりません」とか「忘れました」と直ぐに応えると次の質問に移っていかれますが、**長い沈黙は厳禁**です。また話の膨らまない人もダメです。

練習時に指導していただく先生の注意をよく聞いて、本番では出来るだけすらすらと応えられるようにしっかり練習をしておきましょう。なお**面接で一番大切なのは志望の動機**です。会社のことをあらかじめよく調べ、きちんと答えられる様に準備しましょう。

また**おとなしく覇気がない(元気の無い)生徒が一番問題**です。面接本番では少しはから元気で少し大きな声で、はきはきと応えるよう心がけましょう。

企業が求める人材はやる気とガッツのある人!



今就職試験を前にした皆さんは、会社で働くということをどのように考えていますか。「いわれたことをまじめにしっかり取り組めばよい」と考えるとすればそれは企業から見れば最低限の当然なことで、それだけの人間では真に必要とされません。日本の各企業にとって、厳しい国際競争の中で、いかに勝ち抜くかがきわめて深刻となっています。日本国内で企業を今後も維持できるのかは各企業にとって皆さんが考えている以上に深刻に捉えています。

もとより企業はボランティア団体ではありません。**利益を上げられなければ企業自身が生き残れない**のです。会社に入れば給料を出すのは当たり前と思っているかもしれませんが、経営者の立場に立てば、高校生ならば誰でも良いなどという時代ではありません。**少しでも会社に利益をもたらしてくれる人材が欲しい**のです。

自ら考え、他の人がやれないようなことに果敢にチャレンジしていくような企業でないと生き残れません。だからこそ企業が求める人材はただ言われたことを言われた通りに一生懸命やるだけの人ではなく、**困難にも耐え、新しいことに果敢にチャレンジしていくガッツを持ち、自ら考え自ら工夫が出来るようなタイプの人材を求め**るのです。それは単なる**学校の成績ではなく、やる気と創意工夫と気働きの出来る人材か否かが問われる**のです。

今就職試験を目の前にしている皆さんは、ただ受け身的に考えているだけではだめです。もう一度こうした日本の産業界の置かれた状況と企業の求めるニーズを意識し、こうしたニーズに少しでも貢献できるよう、これから自分がどう仕事に関わっていったらよいかを考えて欲しいものです。

